

質 問 書

※ この MS-WORD 文書のまま送付お願いいたします。(PDF 等のフォーマットへ変換しないでください)

2020 年 12 月 24 日

「モザンビーク国橋梁維持管理能力強化プロジェクト」

(公示日:2020 年 12 月 9 日/公示番号:20a00821)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	p.1 第 1 企画競争の手続き 3 競争に付する事項 「(3) 適用される契約約款」 及び、 p.4 7 プロポーザル等の提出 「(6) 見積書」	本件業務は消費税不課税取引が含まれるため、業務実施契約見積書様式は「不課税化対象案件用」を適用するものと考えます。 一方で「不課税化対象案件用」は、最新の見積書様式(2020 年 4 月 1 日公示分以降)と一部構成・項目が異なりますが、プロポーザル提出時は、どの様式を使用すべきでしょうか。	2020 年 4 月 1 日以降の業務実施契約の公示につきましては、「調査業務用」、「事業実施・支援業務用」のどちらの約款を適応する場合におきましても、以下リンク先の“様式集”一番上の『業務実施契約見積書(2020 年 4 月 1 日公示分以降)』をご使用ください。 (https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html) なお、本件不課税となりますので、消費税については「0 円」にてお見積りいただき、p1 に記載の通り、本邦研修(または本邦招へい)に係る業務についても、見積もり時点では税抜にて計上ください。
2	p.10 第 2 プロポーザル作成に係る留意事項 (2) 業務の実施方針等 1) 業務実施の基本方針	「2021 年 9 月末までは、国内業務を行うが、当該期間中に現地渡航が可能となった場合は、現地業務を前倒しで行う等、その時点で業務計画の見直しを行う」旨記載がありますが、国内作業から現地作業への振替は可能と	前倒しで現地渡航になります場合、国内作業から現地作業への振替も可能です。 業務計画見直しの段階で、国内にて予定していた業務を現地で行う効率・経済性を勘案し協議していくこととなります。

	及び、 p.23 第3 特記仕様書案 5. 実施方針及び留意事項 (7) 新型コロナウイルス感染症流行の影響	ということでしょうか。	
3	p.19 第3 特記仕様書案 5. 実施方針及び留意事項 (3) 産学官連携 ①国内の大学・企業との連携	産学官連携として2つの大学があげられていますが、2大学はJICAないし土木学会が契約など行い、業務に参加することで良いでしょうか。又は本件企画競争への共同企業体への参加はしないという解釈で良いでしょうか。ご教示お願いいたします。	JICA や土木学会が大学と本業務に関する新たな契約を行う予定はございません。プロジェクトの中で大学との連携可能性についてご検討・ご提案をいただきたいと考えております。そのため、ご提案によっては、大学が本件企画競争への共同企業体として参加する可能性もあり得ると考えております。
4	p.19 第3 特記仕様書案 5. 実施方針及び留意事項 (3) 産官学連携 ①国内の大学・企業との連携	産学官連携として【本邦企業が開発中の技術の実装や本邦技術者の技術研鑽の機会を本プロジェクトにおいて提供する。】との記述がありますが、長期専門家がC/Pに紹介を予定する技術内容が有れば御教示いただきたい。	現時点では技術内容を特定しておりません。プロジェクト開始後、モザンビーク側のニーズや課題等を踏まえ、対応可能性のある技術について道路アセットマネジメントプラットフォームを通じて長期専門家や受注者の方に紹介する予定です。現時点で想定される特定の技術がある場合は、プロポーザルでご提案をお願いします。
5	p.20 第3 特記仕様書案 5. 実施方針及び留意事項 (3) 産官学連携 ②現地の大学・企業との連携	現地の研究機関・大学や企業との連携を図ることが記載されておりますが、モザンビークの具体的な大学や研究機関をご教示いただきたくお願いいたします。	現時点では具体的な想定はされておらず、プロジェクト開始後にモザンビーク側のニーズや課題等を踏まえて具体的な検討を行っていただきたいと考えております。

6	<p>p.21 第3 特記仕様書案 5. 実施方針及び留意事項 (4) 過去の技術協力案件における知見の活用</p>	<p>全ての「技術基準」、「マニュアル」類について、閲覧および借用は可能でしょうか？</p>	<p>恐れ入りますが、配布資料のみとなります。必要に応じてJICA図書館で公開されている報告書をご参照ください。</p>
7	<p>p.25 第3 特記仕様書案 6. 業務の内容 (3) C/P 職員及び TWG メンバーの選定</p>	<p>「プロジェクト・ディレクター、プロジェクト・マネージャー、C/P 職員の配置が本プロジェクト開始時までには選任されていない場合は、速やかに選任されるよう、受注者からモザンビーク側に働きかける」旨記載がございます。現在の遠隔による調整が困難となる可能性があるため、JICA 事務所からも ANE とのご調整をお願いできますでしょうか？</p>	<p>遠隔でのプロジェクト開始にあたって必要と認められる事項につきましては、適宜JICAモザンビーク事務所からも支援を致します。</p>
8	<p>p.27 第3 特記仕様書案 6. 業務の内容 (7) 研修の実施 ② 第3国研修の実施</p>	<p>第三国研修にて実施国がラオス及びザンビアと記載されておりますが、ラオス以外の国(アフリカ諸国等)を対象としてもよろしいでしょうか？</p>	<p>本第三国研修は産学官連携活動(5. 実施方針及び留意事項(3) 産官学連携①国内の大学・企業との連携)の一環として想定しておりますが、ラオス及びザンビア以外での実施を想定される場合は、理由とともにプロポーザルにてご提案をお願い致します。</p>
9	<p>p.27 第3 特記仕様書案 6. 業務の内容 (7) 研修の実施 ③現地トレーニング(OJT)の実施 ・実施回数：計5回(1年次：1回、2年次：2回、3年次：2回)</p>	<p>当 OJT は、成果 1~4 に係る活動として実施する OJT とは別の OJT でしょうか？</p>	<p>成果1~4に係る活動として実施するOJTを想定しています。成果1~4のうち、どの部分をOJTの活動として実施するかについては、ご提案をお願いします。</p>

10	<p>p.28 第3 特記仕様書案 6. 業務の内容 (8) パイロット事業（橋梁補修）の実施</p>	<p>一般橋梁及び長大橋や特殊橋梁といった大規模橋梁もスコープに含めることと記載されていますが、これらの橋梁の構造形式とその概数をご教示いただきたくお願いいたします。</p>	<p>対象とする橋梁は現時点で未定であり、プロジェクト開始後にモザンビーク側と協議の上決定いただく想定です。対象とすべき橋梁がある場合は、プロポーザルで理由とともにご提案をお願いします。</p>
11	<p>p.34 第4 業務実施上の条件 4. 配布資料及び公開資料 (1) 配布資料</p>	<p>本件にかかる要請書を共有可能な場合は、共有いただきたい。</p>	<p>共有致します。</p>
12	<p>[配布資料] ②詳細計画策定調査結果 p.2 6. 対処方針・留意事項 (2) 事業の枠組み 【結果】変更点</p>	<p>民間企業のエンジニア等も対象とすることが記載されておりますが、モザンビーク国以外の企業（例：南アフリカ、中国）も対象とするかをご教示いただきたくお願いいたします。また、C/P 以外の民間企業エンジニアをPDM での評価指標とする是非についても合わせてご教示願います。</p>	<p>民間企業のエンジニア等につきましては、モザンビーク以外の方を対象とすることは想定しておりません。対象とすることを希望される場合は、プロポーザルで理由とともにご提案をお願いします。また、本業務はあくまでもカウンターパート機関の能力向上を目的とした技術協力プロジェクトであるため、民間企業のエンジニア等がPDMにおける評価指標の対象とは想定しておりません。民間企業のエンジニア等も評価指標の対象とすべきだと考えられる場合、プロポーザルで理由とともにご提案をお願いします。</p>
13	<p>[配布資料] ②詳細計画策定調査結果 p.5 9. 団員報告</p>	<p>(1) 総括（団長）の報告に含まれる以下の資料を共有いただきたい。 ・課題別研修「橋梁維持管理」に参加した ANE 職員のカントリーレポート、アクションプラン</p>	<p>関連資料を共有致します。</p>

14	<p>[配布資料] ②詳細計画策定調査結果</p> <p>(別添) 2020年度道路アセット マネジメントプラットフォーム 技術支援に関する情報収集・確 認調査モザンビーク国新規技術 協力プロジェクト情報収集調査 に係る報告書 p.1-3 表1-2 質問書の内容</p>	<p>質問書に対する C/P の回答を共有いただきたい。</p>	<p>共有致します。回答書の中で資料に代えて回答している箇所がございますので、当該資料も共有致します。なお、一部資料はポルトガル語となっている点、資料名が正確に記載されていない点及び一部資料は入手できていない点は留意いただけますよう、お願い致します。</p>
15	<p>[配布資料] ②詳細計画策定調査結果</p> <p>(別添) 2020年度道路アセット マネジメントプラットフォーム 技術支援に関する情報収集・確 認調査モザンビーク国新規技術 協力プロジェクト情報収集調査 に係る報告書 p.2-19</p>	<p>Betar 社が開発した橋梁管理システムにある点検記録について、点検項目や記録様式等を共有頂きたいが可能でしょうか。(インベントリーデータの入力様式(図 2-7)の橋梁点検記録バージョン)</p>	<p>具体的な点検記録については入手できておりませんので、共有が難しい状況です。プロジェクト開始後に情報収集をいただけますと幸いです。</p>
16	<p>[配布資料] ②詳細計画策定調査結果</p> <p>(別添) 2020年度道路アセット マネジメントプラットフォーム 技術支援に関する情報収集・確 認調査モザンビーク国新規技術 協力プロジェクト情報収集調査</p>	<p>本件提案の品質の向上のため、以下を共有いただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■計画 <ul style="list-style-type: none"> ・ Programa Quinquenal do Governo 2020-2024 ・ New Road Sector Strategy (RSS-3) Core Strategy ■維持管理 	<p>関連資料を共有致します。なお、一部資料は別項目の回答結果と重複しております(質問状の回答として挙げられている資料もございます)。また、一部資料はポルトガル語ですので、ご注意ください。</p>

	<p>に係る報告書 p. 2-20 表2-11 入手した基準及びレポート一覧</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Bridge Management System Data Collection Procedures Manual ・ Bridge Management System User Manual ■ レポート類 ・ Bridge Inspection Report (Ponte sobre o Rio Lurio) ・ Rovubue Bridge Repair Works – Weekly Report No.29 ・ Traffic Report - 2019 	
--	---	---	--

以上